



ダサ ダンマー スタン パッパジタ アピンハ スタン
Dasadhammāsuttam (Pabbajita-Abhiṇhasuttam)

じっ ぼうきょう
十法経

エーワン メー スタン エーカン サマヤン バガワー サーワッティヤン ヴィハラティ ジェータ ワネー
Evam me sutam: ekaṃ samayaṃ Bhagavā Sāvatthiyaṃ viharati Jeta-vane
 アナータピンディカッサ アーラーメー

Anāthapiṇḍikassa ārāme.

タトゥラ コー バガワー ビックー アーマンテーシィ ビッカヴォー ティ バダンテー ティ テー ビックー
Tatra kho Bhagavā bhikkhū āmantesi: “Bhikkhavo”ti. “Bhadante”ti te bhikkhū
 バガワトー パッチャツソースン バガワー エータダヴォーチャ
Bhagavato paccassosum, Bhagavā etadavoca:

私はこのように聞きました。ある時、世尊がサーワッティのジェータ林のアナータピンディカ居士が建てた精舎に住まわれていました。その時、世尊は比丘たちに呼びかけました。「比丘たちよ」と。「はい、大徳」と比丘たちは返事をしました。世尊はこのように語られました。

ダサイメー ビッカヴェー ダンマー パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバン
“Dasayime, bhikkhave, dhammā pabbajitena abhiṇham paccavekkhitabbā.
 カタメー ダサ
Katame dasa?

「出家が常に観察すべき法が十あります。
 その十法とは何であるか？」

1. **‘Vevaṇṇiyamhi ajjhupagato’ti pabbajitena abhiṇham paccavekkhitabbam;**

1. 『自分のみすばらしい姿になったのだ』と、出家は常に観察するべきです。

2. **‘Para-paṭibaddhā me jīvikā’ti pabbajitena abhiṇham paccavekkhitabbam;**

2. 『他人に頼る生き方になったのだ』と、出家は常に観察するべきです。

3. **‘Añño me ākappo karaṇīyo’ti pabbajitena abhiṇham paccavekkhitabbam;**

3. 『在家と違った行儀で生きなくてはいけない』と、出家は常に観察するべきです。

4. **‘Kacci nu kho me attā sīlato na upavadatī’ti pabbajitena abhiṇham paccavekkhitabbam;**

4. 『私は、戒を守ることにに関して自分の良心に背いていないか?』と、出家は常に観察するべきです。

5. **‘Kacci nu kho maṃ anuvicca viññū sabrahma-cārī sīlato na upavadantī’ti pabbajitena abhiṇham paccavekkhitabbam;**

5. 『私は、理性ある他の修行者たちから、戒に関して非難を受けることはないだろうか?』と、出家は常に観察するべきです。

6. サッペーヒ メー ピイエーヒ マナーペーヒ ナーナー バーヴォー ヴィナー バーヴォーティ
 ‘Sabbhehi me piyehi manāpehi nānā-bhāvo vinā-bhāvo’¹ti
 パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバン
 pabbajitena abhiṇhaṃ paccavekkhitabbaṃ;

6. 『私の好きなものはすべて変化し、消え去るものである』と、出家は常に観察するべきです。

7. カンマッサコーンヒ カンマ ダーヤードー カンマ ヨーニ カンマ バンドゥ カンマパティサラノー
 ‘Kammassakomhi kamma-dāyādo kamma-yoni kamma-bandhu kammaṇṇisaṇṇo,
 yaṃ kammaṃ karissāmi kalyāṇaṃ vā pāpakaṃ vā tassa dāyādo bhavissāmi’¹ti
 パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバン
 pabbajitena abhiṇhaṃ paccavekkhitabbaṃ;

7. 『私は、業で作られ、業を相続し、業から生まれ、業を親族とし、業に依存している。
 私の行為の結果は、善いことであれ悪いことであれ、私が受ける』と、出家は常に観察するべきです。

8. カタンブータッサ メー ラッティンディワー ヴィーティパタンティーティ
 ‘Kathaṃbhūtaṃ me rattindivā vītipatanti’¹ti
 パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバン
 pabbajitena abhiṇhaṃ paccavekkhitabbaṃ;

8. 『私は、日夜をどのように過ごしているのか?』と、出家は常に観察するべきです。

9. カッチ ヌ コー ハン スンニャーガーレー アピラマーミー ティ
 ‘Kacci nu kho’haṃ suññāgāre abhiramāmi’¹ti
 パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバン
 pabbajitena abhiṇhaṃ paccavekkhitabbaṃ;

9. 『私は、出家生活（独住）が気に入っているのか?』と、出家は常に観察するべきです。

10. アッティ ヌ コー メー ウッタリ マヌッサダンマー アラマリヤ ニャーナ ダッサナ ヴィセーソー アディガトー
 ‘Atthi nu kho me uttari-manussadhammā alamariya-ñāṇa-dassana-viseso adhigato,
 sohaṃ pacchime kāle sabrahmacārīhi puṭṭho na mañku bhavissāmi’¹ti
 パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバン
 pabbajitena abhiṇhaṃ paccavekkhitabbaṃ.

10. 『私は、臨終の時、《聖者の智慧と称される何らかの超人法を体験しているのですか?》と仲間の修行者に尋ねられて、
 恥をかくことにならないだろうか?』と、出家は常に観察するべきです。

イメー コー ピッカヴェー ダサ ダンマー パッパジテーナ アピンハン パッチャヴェッキタツバー ティ
 ‘Ime kho, bhikkhave, dasa dhammā pabbajitena abhiṇhaṃ paccavekkhitabbā’¹ti.
 イダマヴォーチャ バガワー
 Idamavoca Bhagavā.

アッタマナー テー ビクケー バガワトー バースイタン アビナンドゥン ティ
 Attamanā te bhikkhū Bhagavato bhāsitaṃ abhinandun’¹ti. (AN.X.48)

比丘たちよ、これらが、出家が常に観察するべき十法である」と。

世尊はこのように説かれました。

比丘たちは世尊の言葉に歓喜しました。 (増支部 十集四十八)

